



こんにちは
 河治市議員

日本共産党

かわじ民夫です

かわじ民夫事務所
 2015年10月14日号
 横浜市旭区万騎が原33-10
 日本共産党旭区事務所内
 TEL360-7686・FAX360-7682
 E-Mail:mail@kawaji-tamio.jp
 http://www.kawaji-tamio.jp/

決算特別委員会・国際局で質問

「正しい歴史認識」の対応こそ重要 (10月3日)

横浜市は今年4月に政令市初となる国際局を創設したことで、海外との都市間交流、多文化共生、平和活動や民間連携の国際協力、海外インフラビジネス等の自治体外交が、一層積極的に

展開されることになりました。

私は国際局が創設された時だけに、海外諸都市との様々な交流を進める土台に国際平和の位置付けが非常に重要だと指摘。横浜市が1987年に国連から「ピースメッセンジャー都市」の称号を与えられたことも述べながら、国際局が誕生した時だけに、その榮譽にふさわしく、非核・平和の意思表示が重要であり、「議会宣言で良しとせず、本市も非核宣言するべきだ」と副市長に求めました。しかし、副市長は「比較都市宣言をする」とはしませんでした。

私はさらに、横浜市の姉妹都市は東南アジア等に多いわけで、都市間連携・交流にあっては、国際局の職員自身が、日清・日露・第二次大戦等の歴史的事実に対する全面的な認識をもって対応すべきと要望しました。



北谷まり議員が決算特別委員会・市民局で質問

横浜文化体育館再整備、PFI方式でよいか (10月7日)

北谷まり議員は市民局の審議で、横浜文化体育館の再整備、市政等の広報と区役所の役割、犯罪被害者相談事業について、質問しました。

ナの管理・運営の公平性公正性は保てるのか、管理・運営の民間事業者の都合が優先され、市民が使えないような施設になってしまうのではないかと質問しました。

横浜文化体育館は、開業以来50年以上にわたって市民に愛されてきた施設です。今回老朽化に伴って再整備計画が進められており、固定席2,500～3,000、可動席2,000のメインアリーナと、1階が固定席500の武道施設と2階が固定席500～1,000のサブアリーナを建設する予定です。また、メインアリーナについては民間事業者が整備・運営・管理するPFI方式が検討されています。

市民局長は、PFIの具体的な整備手法について現在検討中であるが、適切に管理・運営ができるよう検討していくと答えました。



北谷議員は、民間事業者が運営することにより収益事業を優先した運営方針になるのではないか、同事業者が指定管理者になるサブアリー